

# 近世思想と仏教

仏教・思想史

すえき ふみひこ

末木文美士 著 ▼A5判・並製カバー！416頁 定価 四、九五〇円

2023年9月刊行



近世仏教墮落論が克服された今日に、多様で複雑な近世仏教の特質を探るための論点を提示。教理教学のほか、文学作品等も押さえつつ、近世思想全体における仏教の位置を問う。

## 【目次】

はじめに

### 第一章 近世思想と仏教

- 第一節 近世思想の展開と仏教
- 第二節 近世思想の合理と非合理

### 第二章 仏教と諸思想の交流

- 第一節 ハビアンと『妙貞問答』
- 第二節 寂本の羅山批判——『神社考弁疑』をめぐる
- 第三節 東アジアの儒と仏

### 第三章 近世中期の仏教思想の展開——鳳潭を中心に

- 第一節 近世中期の仏教思想の展開
- 第二節 鳳潭——生涯と著作
- 第三節 鳳潭と性悪説——『起信論註疏非詳略訣』を中心に
- 第四節 鳳潭の華嚴学と普寂の批判
- 第五節 鳳潭晩年の思想——『華嚴入法界品字輪頓証毘盧遮那法身觀』をめぐる

### 第四章 女性と仏教

- 第一節 近世における女性と仏教
- 第二節 祖心尼——著作と思想
- 第三節 橘染子の禅理解

### 第五章 近世仏伝の世界

- 第一節 娯楽か信心か——仏伝から近世仏教を考える
- 第二節 近世後期の仏伝——ブッダの日本化をめぐる

### 第六章 欧米に伝わった近世仏教

- 第一節 シーボルト／ホフマンと日本宗教
- 第二節 『仏像図彙』とベルナルド・フランク「お札」コレクション

### 第七章 近世から近代へ

- 第一節 来世観と幽界観の展開
  - 第二節 幕末神道の幽冥観——六人部是香の場合
- 初出一覧／あとがき／索引

#### ◆著者略歴

末木文美士(すえき ふみひこ)

一九四九年山梨県に生まれる。一九七三年東京大学文学部印度哲学専修卒業。一九七八年東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。現在、東京大学名誉教授、国際日本文化研究センター名誉教授。専門は仏教学・日本思想史。近年の主な著書に、『日本の近代仏教——思想と歴史』(講談社学術文庫、二〇二二年)、『禪の中世——仏教史の再構築』(臨川書店、二〇二二年)、『死者と霊性の哲学——ポスト近代を生き抜く仏教と神智学の智慧』(朝日新書、二〇二二年)、『日本思想史』(岩波新書、二〇二二年)、『親鸞——主上臣下、法に背く』(ミネルヴァ書房、二〇一六年)などがある。

注文書	様冊
(書店印)	ご担当
末木文美士著	法藏館 定価 四、九五〇円
近世思想と仏教	住所
ISBN:978-4-8318-6279-2 C3021	お電話
	お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp